

経済界にとってCSRとは 何を意味するか？



フラクタル、CSR、格付け、
モードB・マネジメント、
知識主導型経済

環境経営学会会長 三田和美 (2004/11/24)

なんとなく、フラクタル

- 自己相似性
- ヒトと法人
- 社会的責任
- 供給者の社会的責任
- 企業の社会的責任

- 向こう三軒両隣
- コミュニティ
- 地方自治体
- 国家
- グローバル・コミュニティ

ヒト

ヒトヒト

ヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒトヒトヒト

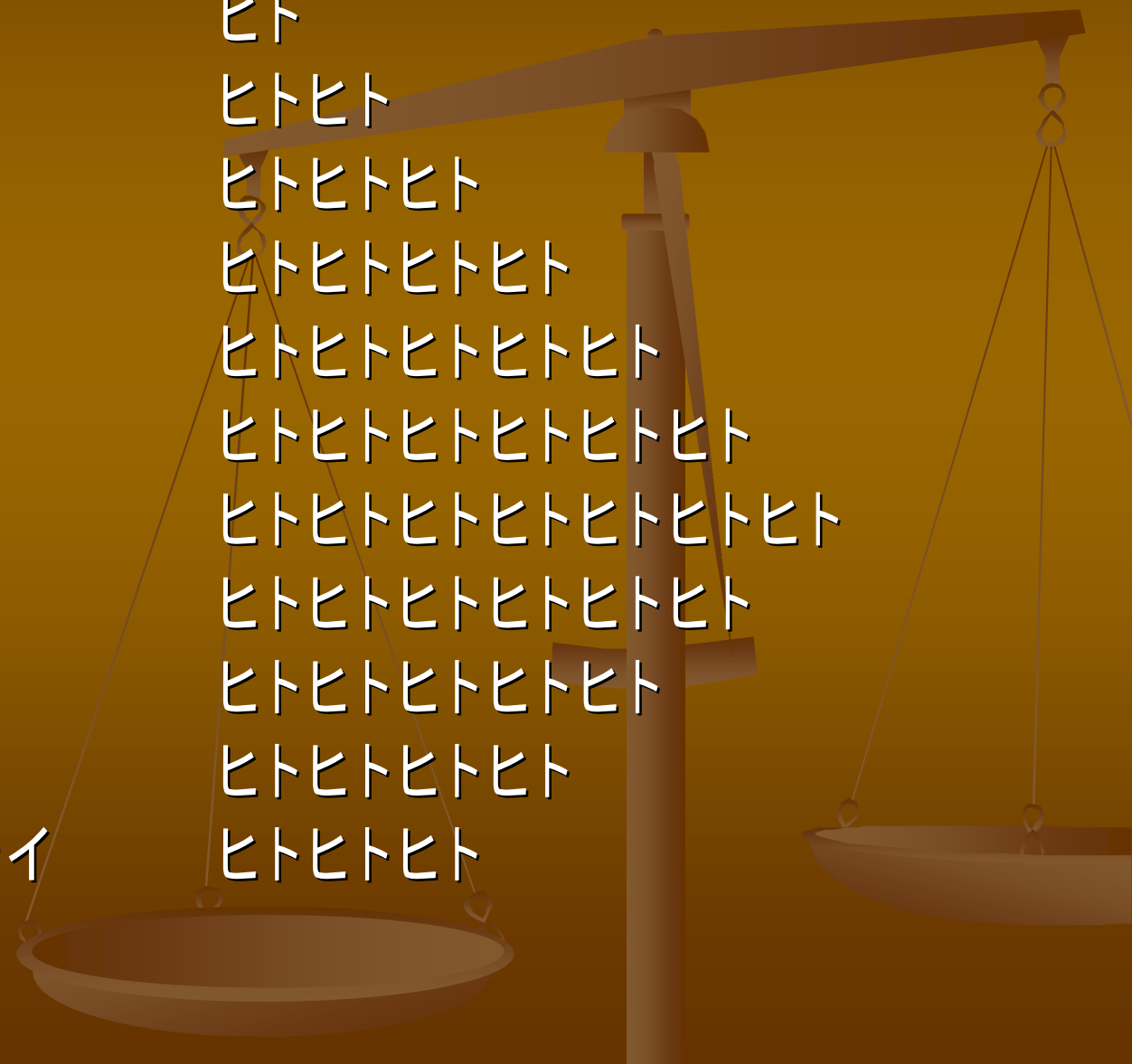
ヒトヒトヒトヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒトヒト

ヒトヒトヒト



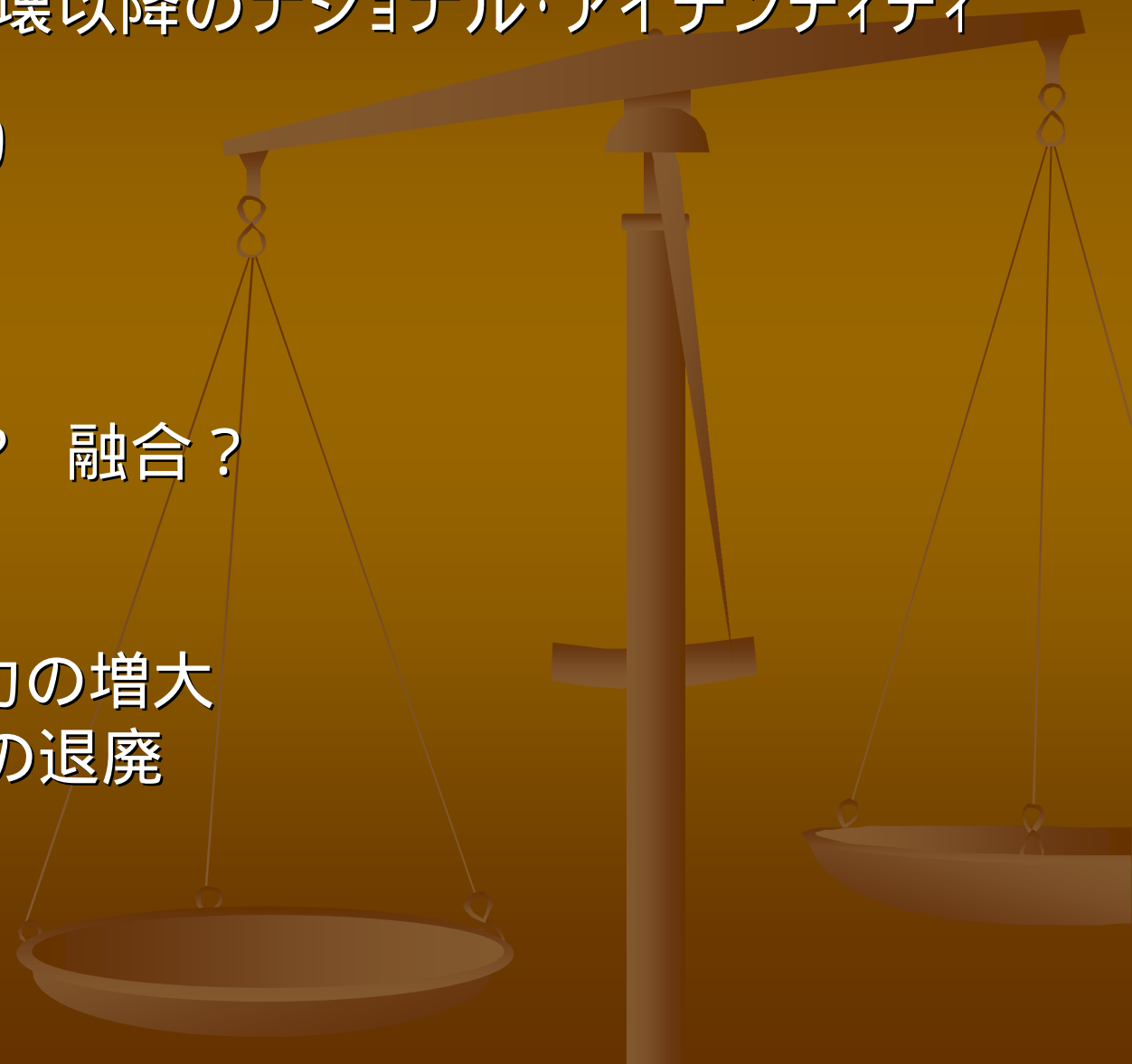
CSRとは何か？

セクターごとに考えると……


- * 国家にとってー新しい市民主導型社会形成と経済再活性化への企業の貢献
- * 市民にとってー社会的調和への企業の役割分担
- * コミュニティにとってー地域経済活性化とリスクマネジメントに対する企業の重要な役割分担
- * 企業にとってー知識主導型経済のダイナミズムのなかで、特徴としてはソーシャルキャピタル(市民関係資本)の増殖をつうじて、競争優位を獲得する戦略目標

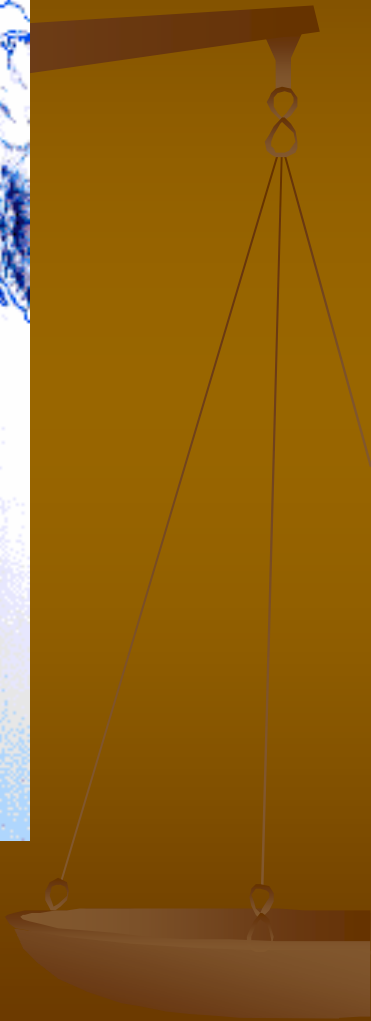
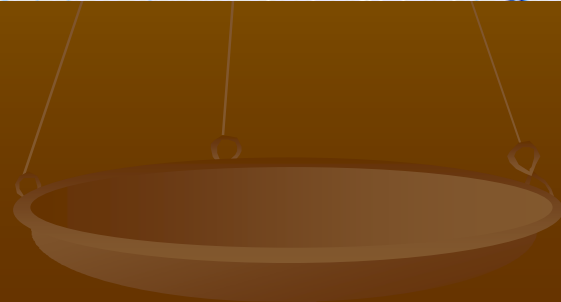
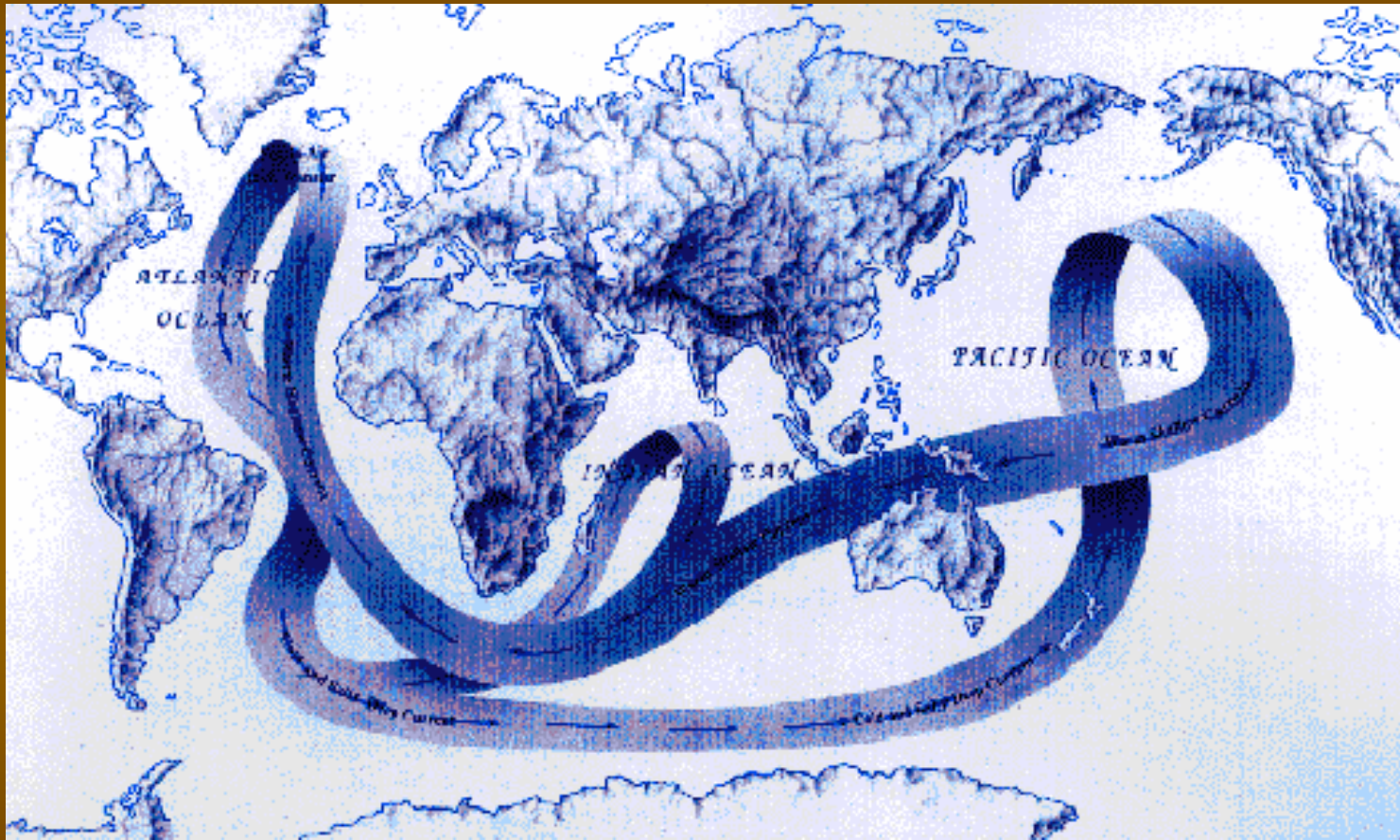
なぜCORPORATEなのか？

- ‘89年ベルリンの壁崩壊以降のナショナル・アイデンティティの模索
- 福祉国家の行き詰まり
- 移民問題の深刻化
- コミュニティの崩壊
- 貧富の差の拡大
- 文明の衝突？ 共存？ 融合？
- 経済のグローバル化
- 技術の巨大化
- 企業の「権力」、影響力の増大
- エスタブリッシュメントの退廃
- テロリズムの拡散



切迫する地球環境問題

- 自然災害の著しい増加－2065年 被害総額が生産額を凌駕する
 - 急激な気候変動リスク (ACC: ペンタゴン・レポート)
 - －2010年大西洋諸国の寒冷化 (ブロッカーのコンベアベルト)
 - 迫りくる感染症 (疫病) の危機－微生物界の生存競争
 - 人工化学物質汚染の進行－世界的少子高齢化
 - 水・食料・エネルギーリスクの深刻化
 - 未解決の「南北問題」
 - 企業による環境保全の遅れ
 - 政府の怠慢
 - 国際機関の官僚化
- 



「市民感情」を特徴づけるもの

道徳的パラダイムのコペルニクスの転換

— 価値観・正義感・美意識

情報技術と旅行手段の発達による知識の増大

インターネットとTVによるバイアス

制度疲労の露呈

エリート層の倫理的崩壊の暴露

市民の自覚と存在感の高まり

社会的共通主観の広範な形成

知識主導型経済への展望と期待

知識主導型経済とは？

- “Knowledge-Based Economy” の訳

- 経済の史的変遷

[主要産業形態]

農業 工業 サービス産業 知識産業

[主要資源]

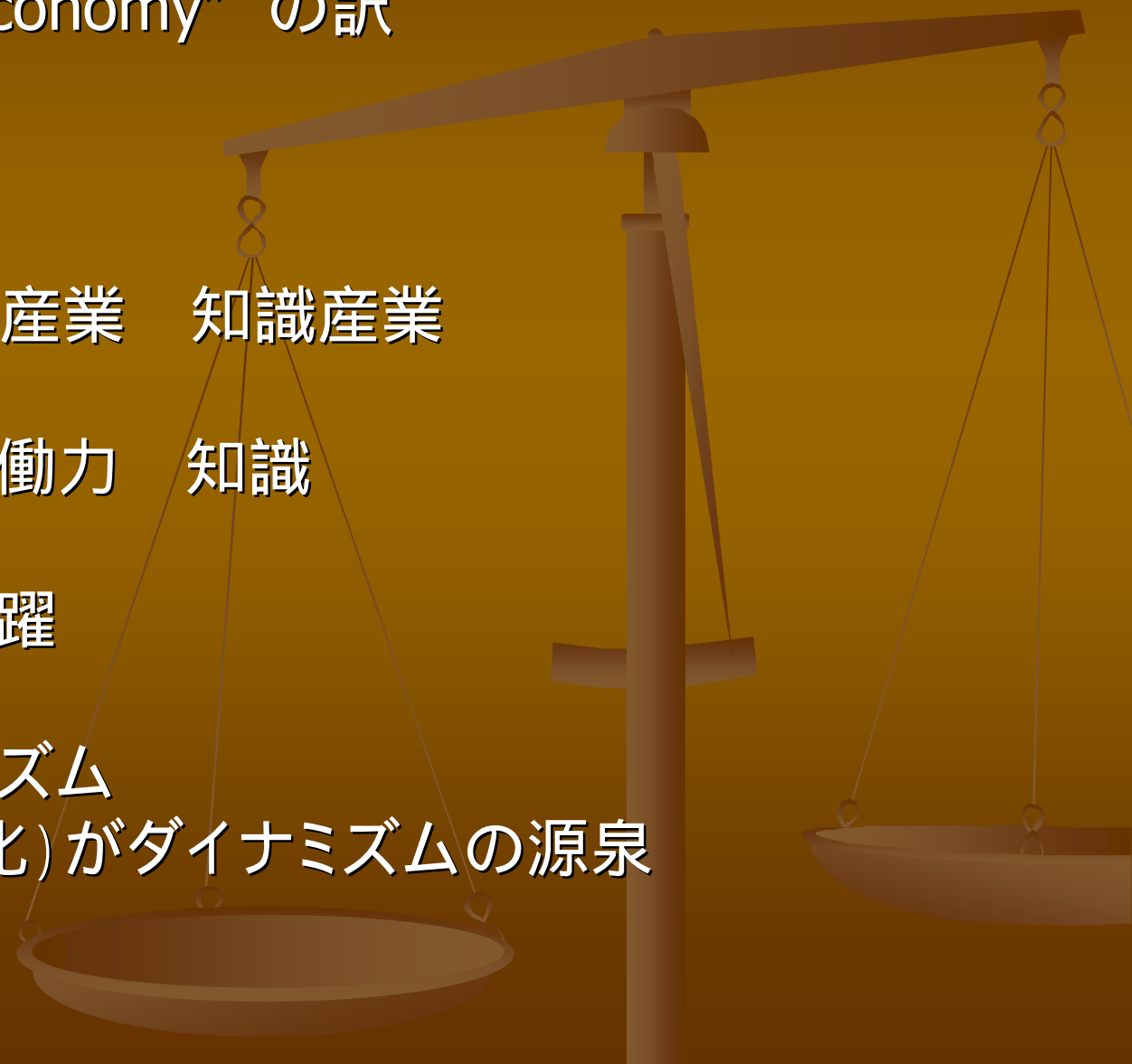
動植物 鉱物資源 労働力 知識

[動態特性]

固着 受動 能動 跳躍

知識が知識を生むメカニズム

跳躍(スモールワールド化)がダイナミズムの源泉




知識主導型経済の上部構造

- 物質の束縛から精神の自由度を最大にする
- メカニズム システム ネットワーク
- 「ネットワークコンプレキシティ」という考え方
- ヒトはネットワーク社会を舞台として即興劇を演じる役者 (ACTOR) である。
- 企業・供給者は大道具小道具方である。
(Cf. 規制国家から市民の自主的な活動を促す触媒国家へ イギリスの行政改革)

アクターとリンク

- アクターとは自生的な結節点(ノード)のこと
- アクター間のリンクエッジがパフォーマンスを決める
- 構造的溝は架橋できる(ブリッジング)
- 社会的ネットワークはスケールフリーである(ハブ・アクターの存在)
- ショートパスの発見が決定的(スモールワールド化、遠交近攻)
- アクターは相互に影響を及ぼす
- 企業はネットワークのクラスター

スケールフリーネットワーク理論の 要点

- べき乗分布 (ハブの存在)
 - 成長 (ブーム・バースト理論)
 - 相互浸透 (診断即治療、治療即診断)
 - 競争的選択 (優劣)
 - 適応性
 - 不確実認識 (可謬性理論)
 - リスクマネジメントに関する「砂山の理論」
- 

知識主導型経済に適応する経営 = モードB・マネジメント

- 経営理念: 企業社会の論理 社会的文脈
- 経営戦略: 個別経営資源 アクターズ(地動説)
(cf.ステークホルダー;天動説)
- 情報戦略: 学習的 相互影響的ネットワーク
- 管理運営: 企業内部の理論 社会通念、情報開示、
透明性、説明責任
- 仕組み: 階層的 非階層的、スモールワールド的
- リスクマネジメント: 予知可能性 可謬性
- 企業文化: 忠誠心 知識リテラシー + 社会倫理

CSR格付けの意義

- 格付けはCSR促進の触媒である。
- 環境経営は企業の社会的責任となった
- (E)PR CSR = 「モノ」・システム 企業行動
- 経営者は、自分の頭で考え、「決断」し、行動し、結果について責任を負う 倫理的決断であるかどうか、絶え間ない自省が必要
- ダイアログ 遠いアクターとのスモールワールド化 (遠交近攻)
- CSRを通じて企業価値の向上 ソシアルキャピタルの増殖